

所在地：愛媛県南宇和郡愛南町
 認証：GLOBALG. A. P.、個別認証
 応募区分：人材育成の部

面積：1.0 ha
 構成員：63人
 栽培品目：河内晩柑、甘夏

取組の紹介

【GAPに取り組んだきっかけ】

- 平成29年度、国際的な視野を持って農業に取り組み、地元特産品の新たな可能性を生み出したいと考え、農業科の果樹専攻生を中心に河内晩柑と甘夏のGLOBALG. A. P.の認証取得を目指し始めた。平成30年4月に、柑橘では高校生初のGLOBALG. A. P.の認証を取得した。

県内の法人が開発したICTシステムを活用して書類整理の効率化を図っている。

【GAPの継続及び生産効率性の向上に向けた取組】

- 作業日誌、農薬使用簿等の帳票管理を電子化することで、書類管理の簡素化を図ることができ、日々の記録や更新審査をスムーズに行えるように対策した。端末を一人一台配布し、電子化したマニュアルを共有することで作業がルール化され、上級生からの引継ぎがスムーズにできるようになった。

【地域内外への波及と教育機関における地域の牽引役としての貢献】

- 愛南町と連携した河内晩柑PR活動等に生徒が参加し、同校のGAP活動も紹介している。また、各種イベントやメディアを通じてGAPの取組を情報発信している。
- GAP認証を取得できる高いレベルで学習した生徒が、県の農業振興に貢献するよう、人材育成を目標に学習課程を組んでいる。他校とGAP学習会を実施し、県内教育機関の認証取得への機運醸成に貢献している。関係機関より講師を招き、調査、研究に取り組んでいる。
- 校内で収穫されたGAP認証農産物を活用した加工品開発にも取り組み、町内外で高い評価を得ている。



GLOBALG. A. P. 更新審査



端末を利用したマニュアルの共有



外部講師を招いたGAP学習の様子